

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	産業カウンセリング演習(Exercise of Industrial Counseling)		授業コード	E040001
担当教員名	高橋 淳一郎、久米 廣昌		科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	4	
履修上の注意または履修条件	産業カウンセラーの受験資格を目指す学生は必ず履修してください。また、「産業カウンセリング実習Ⅰ」・「産業カウンセリング実習Ⅱ」を同時に履修してください。			
受講心得	遅刻、講義中の携帯電話の使用、おしゃべり、無断外室など、他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。大学生として最低限のマナーは守って履修してください。演習なので、学生の自発的積極的な参加が求められます。			
教科書	産業カウンセリング 社団法人日本産業カウンセラー協会 編			
参考文献及び指定図書				
関連科目	心理学、カウンセリング、精神保健学、ビジネス実務総論A、産業カウンセリング論、産業カウンセリング実習Ⅰ、産業カウンセリング実習Ⅱ			

授業の目的	学生のみなさんは大学を卒業するとほとんどが就職して社会に出て行くことでしょう。実際の社会では人は様々なストレスにさらされ、多くの悩みを抱えて生きています。この科目は演習科目として、傾聴をキーワードに実際の対人援助の方法について学び、そのうえで産業の現場およびキャリア支援等のケースについて実施のケースを検討しながら産業・キャリアカウンセリングを具体的に学んでいくことを目的とします。
授業の概要	

○授業計画		
学修内容	学修課題(予習・復習)	
第1回 オリエンテーション		
第2回 傾聴の意義と技法 カウンセリングの基本的スキルである傾聴について考えていきます。		
第3回～第14回 演習 実践的に傾聴のあり方について学んでいきます。		
第15回 前期のまとめ これまでを振り返りながら、それぞれが後期に向けての課題を見つけます。		
第16回 後期のオリエンテーション 各自のこれからの課題について振り返ります。		
第17回～第23回 演習 各自の課題に取り組みながら実践的に傾聴のあり方について学んでいきます。		
第24回～第26回 事例検討 産業カウンセリングやキャリアカウンセリングの実際のケース例を検討して、対人援助の在り方について考えます。		
第27回～第29回 演習 事例検討を踏まえて、あらためて傾聴の意義について演習を通して考えます。		
第30回 まとめ これまでを振り返ります。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」

	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	